

## ダイハツとスズキが黒大豆苗移植体験(6月25日)



自動車メーカーのダイハツとスズキが、熊谷地区で畑を借り、黒大豆の栽培に取り組みられています。この日は、黒大豆の苗移植が行われ、地元農家の辻長俊さんに手ほどきを受けながら、社員やその家族の皆さんが苗をていねいに植え、土を寄せていきました。

## 有機野菜を学校給食で味わう(7月12日)



市内の有機栽培グループ「篠山自然派」が生産した有機野菜(たまねぎ、じゃがいも、きゅうりなど)が学校給食に提供され、児童たちは夏野菜カレーと手作り福神漬けを味わいました。この日、西紀南小学校では、6年生を対象に篠山自然派による食育授業も行われました。



## 市内の各小学校で3年ぶりのプール授業(7月8日)

新型コロナの影響で中止が続いていた小学校のプール授業が3年ぶりに再開されました。多紀小学校では、1年生の児童たちが元気にプールの中へ。水中ジャンケンや、プールの中をぐるぐる回り渦をつくる洗濯機など、水遊びを楽しんでいました。この日は3年生の授業も行われ、ビート板をもってパタ足で泳いだり、クロールで泳いだりと、上手に泳げるように先生に教わりながら一生懸命泳いでいました。



## JR銀河にデカンショ踊りを披露 地域の魅力をPR(7月1日)



JR西日本の長距離列車「WEST EXPRESS 銀河」が、1日から3日まで大阪駅から城崎温泉駅(豊岡市)までを運行。停車駅の篠山口駅のホームでは、酒井市長や観光大使らが出迎えた後、兵庫県丹波篠山デカンショ節保存会の皆さんが、ホームで踊りを披露し、乗客の皆さんをもてなしました。また、車内では、特産の黒大豆や地酒などを販売し、地域の魅力をPRしました。

## 川代ダム野鳥・環境愛護協会(6月13日)



川代ダム周辺に生息する野鳥の調査や生息環境の保全に取り組まれている「川代ダム野鳥・環境愛護協会」。これまでの功績が認められ、環境保全功労者知事表彰を受賞されました。松本正義会長は、「今年で30年目を迎える活動に華を添えていただいた」と笑顔で話されました。

## 城南地区総合防災訓練(6月19日)



城南地区を対象とした総合防災訓練が行われました。当日は、自治会公民館を一時避難所として避難する訓練が実施されました。さらに、城南小学校体育館で講演会や展示、水消火器による消火訓練、防災ヘリによる救出訓練などが行われ、参加者は防災への意識を高めていました。

## 加久田保さんが高齢者叙勲を受賞(7月8日)

昭和25年から城南村および丹南町職員として36年、丹南町助役として12年地方自治の発展に尽力された加久田保さんが高齢者叙勲を受賞されました。「このような立派な賞をもらえると思っていなかったので、市から連絡が来てびっくりした」とうれしそうに話されました。



## 城東小5年生が水田で生きもの調査(7月7日)

市では、環境に配慮した米づくり「農都のめぐみ米」の取り組みとして栽培圃場の生きもの調査を行っています。この日は、「米づくりから地域の環境を考える」をテーマに、城東小学校5年生の20人が、いずみ営農組合が管理する水田を訪れました。児童たちは網やバケツを手に生きものを探し、コオイムシなどの水生昆虫やカエル、バッタなど、約20種類を見つけて観察。生きもの調査を楽しみました。



## 中森俊介選手後援会設立(6月24日)



市出身でプロ野球・千葉ロッテマリーンズの中森俊介選手を応援しようと後援会が発足しました。丹波篠山市民センターで行われた設立総会では、キクヤ株式会社の中森満さんを後援会長に選任。今後、同会では、中森選手を招いたイベントなどが計画されています。入会申し込みは、会のホームページで受け付けており、会費は大人一口2,500円、中学生以下一口500円です。



丹波篠山市民の希望  
後援会に入会して  
中森俊介選手を  
一緒に応援しよう!!  
中森俊介選手後援会  
お申し込みは  
こちらから  
https://midas.jp/nakamori-syun-spr/registration/

